

事業所名		岬町立簡易心身障害児通園施設 こぐま園				支援プログラム		作成日		2025 年	7 月	15 日
事業所理念		小集団での経験の中から、個々の子どもの心身の発達の状況に応じて、効果的な指導及び訓練等を行う										
支援方針		一人一人の個性を大切にし、保護者とともに寄り添いながら、基本的生活習慣や人とのかかわり方（コミュニケーションの力）などの発達を促すように支援する										
療育時間			9 時	45 分から	15 時	0 分まで	送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	保護者とともに毎日通園することにより、規則正しい生活リズムが身につくようにする。食事、排泄、衣服の着脱、睡眠、片付け等必要な支援を行いながら身のまわりのことを自分でしようとする力を育てる										
	運動・感覚	運動遊び（リトミック・感覚統合あそび・体育遊び等）を通して筋力、持久力、バランス感覚など身体的な発達を促進する。並行して個々の発達段階に応じた微細運動（手指を使う遊び等）を通して、日常生活の動作がスムーズにできるように支援する										
	認知・行動	個々に応じた支援方法（視覚支援など）や、様々な活動（遊び等）や環境設定を行い、できた喜び感じたり、「楽しい、やってみよう」と意欲がもてるような経験や関わりを積み重ねていく毎日の生活経験や課題活動を通して、色、形、大きさなどへの興味が深められるようにする										
	言語 コミュニケーション	日々の関わりの中で、支援者とのやりとりを楽しみながら、言葉やジェスチャー、写真や絵カード等、個々に応じた方法で支援し、意思表示、言葉での理解や表現ができるようにしていく										
	人間関係 社会性	支援者との関わりの中で信頼関係を築き、支援者が仲立ちをして友だちへの興味関心につなげていく 小集団の活動の中で、個々に応じた視覚支援などを行い、順番や交代、簡単なルールを守ることなどを知らせ、社会性を身につけていけるようにする										
家族支援		日々の親子保育に参加してもらう中で、子どもと楽しく遊べるようになり、保護者との愛着を育てる。また面談などの機会を設け子どもの成長や支援方法、困っている事などを共有し、家庭での実生活に結びつくように支援する				移行支援		幼稚園や保育所への就園所、就学などにスムーズに移行できるように連携を図り、移行先との交流保育などを行う 移行先へ支援内容等の引継ぎを行う				
地域支援・地域連携		地域の就学前施設や医療機関・保健センターなどとの情報共有をする				職員の質の向上		研修会への参加 療育内容の評価と反省の実施				
主な行事等		運動会、生活発表会、遠足、クリスマス会、誕生日会、季節の行事、交通安全指導、避難訓練、修了式等										